

## 投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 <small>(内用地補償費)</small>	億円
		通常砂防事業 おち百千川	宍粟郡一宮町 くもん公文		約1.3 (約6百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
宍粟郡 一宮町 公文				H14年度	H16年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流であり、土砂災害の危険性が高いため、堰堤工を設置することにより、地域住民の人命及び財産を保全する。	・砂防堰堤工 1基 (H= 9.0m , L= 50m)

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	・百千川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は急峻で渓床浸食も著しいが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象 : 人家 = 5戸、公共施設 = 町道 その他 = 神社 ・生活道路である町道が被災すると一時的に地域が分断される。
地域の活性化	・砂防堰堤工事により土砂災害が軽減され下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・堰堤工設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元からの事業化への要望が強い。 ・山村振興指定地域に該当し、砂防堰堤工の整備により地域間格差の是正に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命及び財産 (人家 5戸) が保全されるので事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域内には人家 5戸、町道の他、神社がある。 ・流域は渓床勾配が急で、渓岸浸食が進んでおり、荒廃度は10%を越えている。 ・このため土砂流出の危険性が高く、公文地区の人命及び財産を土石流災害から保全するために早急な対策が必要である。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------